

里山里海湖研究所を開設

里山を未来に承継する拠点

10月30日(水)、県は、三方湖畔にある「縄文プラザ」の2階に「福井県里山里海湖研究所」をオープン。所長には、東京農業大学名誉教授の進士五十八氏が就任しました。

開所式では、西川知事が「大勢の皆さんがここを拠点として活動し、日常と結びついた里地里山活動が行われることが重要」とあいさつ。進士所長とともに、看板の除幕を行いました。

都道府県で里山の研究所を設置するのは、全国で初めて。研究所は、生物の多様性や福井の豊かな暮らしを次代に承継していく拠点です。ご活用ください。



福井新聞社提供

「サクラサク」4月公開!

一乗谷朝倉氏遺跡や瑞林寺(美浜町)などで県内ロケ



朝倉氏遺跡保存協会提供

さだまさしさんの小説を原作に、本県を舞台にした映画「サクラサク」の県内ロケが、10月12日から23日まで行われました。

「サクラサク」は、地元の強い思いで映画化が決定。県や美浜町などの関係市町、企業が出資・協賛して制作します。平泉寺では左義長ばやし、朝倉氏遺跡では花嫁行列、美浜町早瀬では子供歌舞伎など、県内各地で撮影。ロケ地での昼食には、地元の有志による郷土料理の炊き出しも行われました。

父親の思い出の地を探しながら、家族の絆を取り戻していくロードムービーです。映画の全国一斉公開は来年4月。ぜひご覧ください。

白川文字学で教育の質を向上

白川静漢字教育賞や公開授業など

11月に白川文字学を活かした漢字教育の公開授業が、漢字研究の第一人者である、白川静さんの母校、福井市順化小学校をはじめ、県内52か所の小・中・高校で行われました。

また、新しい指導法や特色ある教材で漢字教育に成果を上げて

いる教員らを表彰する「白川静漢字教育賞」を新設。26都府県から62人の応募があり、2名が最優秀賞に。県内からは、福井市明新小学校の山本早苗教諭が選ばれました。

県立図書館では、11月1日(金)に白川静氏の著書や研究業績を紹介する「白川文字学の室」をリニューアルオープン。様々なイベントが開催されました。



ホノケ山トンネル開通

河野-南条・今庄を直結

県が建設を進めていた国道305号の河内-奥野々間が完成し、11月4日(月・祝)に供用が開始されました。

これまでは、河野地区と南条・今庄地区を結ぶ道路がなく、往来には越前市を迂回していました。ホノケ山トンネルの開通により、南越前町本庁から河野総合事務所間の所要時間が約40分から20分短縮し、北陸自動車道から越前海岸までのアクセスも向上しました。

トンネル内の照明はLEDを採用し、AMラジオ放送が受信できるアンテナも設置。

開通式典では、西川知事が「これを契機に周辺観光への活用など人、物の交流を進めたい」とあいさつしました。

